



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：株式会社千葉ビジネスサポート

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

・親会社の創業者が、千葉でお世話になった恩返しにと社会福祉法人を立上げ知的障害者施設を開設。障害のある人もない人もともに暮らしていける社会の実現と障害者の自立支援、障害者雇用機会の確保、雇用の促進と安定を図り社会に貢献していくことを目的に設立。

2. 障害のある人が従事している主な業務

小売店舗における作業（商品の補充、陳列整理、商品管理、清掃等）

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・入社後は、基本的に5名程度のグループでの就業とし、指導員を付けて業務を行っている。単独で店舗作業を行うことになっても指導員が中心になり、店舗でのキーパーソンになる人と連携を取っている。
- ・作業を行う店舗の従業員には指導員から説明をし、理解していただいている。
- ・毎朝朝礼時にあいさつ、売場案内の練習を行い、店舗業務に生かしている。
- ・各支援機関と連携を取り、問題の早期解決を図っている。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・年度初め（4月）までに1年間の個人目標を決める。半期ごとに目標に対してどうであったか指導員と面接を行う。2月には本人、保護者、社長で三者面談を行っており、仕事、家庭での出来事や様子などから生活のリズムが仕事に影響しないよう問題解決を行っている。
- ・毎朝の朝礼は、当番制で司会を担当する。人前でも話ができるようになっている。
- ・歓送迎会、バーベキュー大会、忘年会などを開催し、コミュニケーションを図っている。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（ 障害者就業・生活支援センターあかね園、千葉障害者キャリアセンター ）

活用して良かった点

- ・雇用者の支援機関での様子などがうかがえ、雇用後の対応に生かせる。
- ・雇用後、問題が起きたときの相談や対応をしていただいた。非常に助かった。
- ・会社の指導員の研修や施設の見学、現場の作業の見学など障害者と指導員ともどもお世話になり、人的な交流も行っている。
- ・その他、何でも気軽に相談させていただいている。